



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、「戦争はずっと前から「こわり」、「おそろしい」といつも思っていました。今日の話聞いてもっと「こわり」、「おそろしい」と感じました。「戦争」というのを体験した人、体験していない人の感じ方はちがう所もあると思います。しかし、「戦争」というのを一生してはいけないのは、「戦争」というのを体験している人、体験していない人も同じだ」と思います。日本は、「戦争」をしていせんが、他の国ではしている国もあります。私はなぜ戦争をしようのかと不思議に思いました。戦争をすると、人の一生にあたえられた「命」をうばいます。また、人の「心」を傷つけてしまいます。今、他の国で「戦争」をしている国はなぜ「平和」を考えないのかとても疑問に思います。私たちは、今、幸せだと思いましたが。「戦争」と「平和」を次の世代に伝えていきたいと思えます。「戦争」の話聞いて、勉強になりました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の話を聞いて原子爆弾「リトルボーイ」が爆発する仕組みが、知りたくなって来ましたし、原爆先生の父さんが言ってきた事を聞いて、原爆が起きてひどく怖いと思いました。何人もの人が悲しんでいます。さけんでいる痛がっている。という中で活動をしていましたと思うと、ぼくはとてもぞろぞろとします。なぜなら「全身にやけどをした人の手をにぎ、その皮膚がとれて手がすくすくして荷台から落ち、手を痛める」と聞いたからです。このことが自分に起きたら東京の建物がぐずぐず木平地になり、ほとんどの人が亡くなってしまったらと思います。でもなぜ原子爆弾「リトルボーイ」を作ったのが、第二次世界大戦だったからでなぜ人がいなくなるものを作ったか。日本人がアメリカの何人もの命をうばったとしても人がいなくなるような物を作らないでほしいと思います。だからとてなうらみか

あるうらみの命をいなくなるような物を作らないでほしいか
 特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com
 たと思います。だから日本人は、この戦争を止めた



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、原爆先生の言葉を聞いて、こんなに残酷な事はない、と思いました。僕が一番心に落ちた所は「一瞬間にして命をうばわれた」といふ所と「トラックの荷台に手を差し伸べた」といふ所です。
 「一瞬間にして命をうばわれた」といふ所は「3000°なんて信じられない。300°でも熱いのに」と思いました。人間が蒸発してしまつたとき、びっくりしてしまいました。

トラックの荷台から、3000°があつた人の手が差し伸べられて、セ田義三さんが手あかんだら、皮がスルッとはがれてしまつた。

その時僕はこんなに残酷な事はない、と思いました。セ田さんは17才という、今なら高校三年生の若さで陸軍に入りました。本当は21才からなので、びっくりしてしまいました。セ田さんは本当にすごい人だな、と思いました。

これから戦争のない未来を作りたくて、です。



原爆先生の特^{じゆこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくが、この7000名の少年の才^{さい}受^{じゆ}業^{ぎょう}を
 受けて思^{おも}った事は、まだ17才なのに軍隊に入
 る、池田さんはすごいと思^{おも}った。それに
 池田さんのチームはほかのチームより
 ちょっとしようげき^{しょうげき}があるし、悲^{かな}しい
 任^{にん}務^むだと思^{おも}った。水が入っていた所
 の中に、人の死^し体^{たい}が入^いっているからしようげき
 もあつたし皮^{かわ}ふカ^かがはがれていて、とても
 気持^{きもち}悪^{わる}いと思^{おも}う気持^{きもち}はあかります。やけど
 をあつた人^{ひと}達^{たち}が、ぼく達^{たち}とは歩^あき方^{かた}が
 違^{ちが}うから、とても苦^{くる}しかったと思^{おも}った。
 池田さんのビデオを見^みて、ぼく達^{たち}には想^{おも}
 像^{ざう}もつかない事^{こと}があつたんだなと思^{おも}い
 とても悲^{かな}しかったである。原^{はら}爆^{ばく}先生^{せんせい}の才^{さい}受^{じゆ}業^{ぎょう}
 を受^うけてとてもよかつたです。
 また原^{はら}火^か暴^{ばう}事^じについて、もっと知^ちりた
 いなと思^{おも}いました。
 しよ^{しよ}げ^げき^きがあつた所^{ところ}もあるけど
 とても免^{めん}強^{きやう}になつてよかつたです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

僕は原爆の話を知りたくて人の人の
の思いなどが分かりました。またぼくは
初めて知ったことが多く、リトルホーイが暴発
したときの表面の温度が太陽の表面の温度
よりも一度も高い、七度と聞いたときはすごく
おどろきました。六百メートル上空に太陽より熱い
ものがあり地上が三十度という熱さはどれほど
熱いのか想像するだけでゾクゾクになりました。
そして広島市人口三十五万人に対し十四万人が亡く
なると聞いて、それまでの原子爆弾を落とす
のは今までひじいこと日本はしてきたかもしれ
ないけれどあまりにもひどいと思いました。
また、怖けいをおった人々は実際に見ていない
人が想像しているほどのやさしいもの
ではないと、実際に見ていった人が言っていたの
を聞いてぼくはそれほどおそろしかったん
だなと思いました。

そして僕は原爆の話も軽く考えたりする人が
忘れていった人たちに伝えていきたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

この原爆についてのタイトル「7000歳の少年」これは、リトル
ボーイのことだと分かりました。リトルボーイの表面約7000歳
(小さな少年)
で、リトルボーイの「ボーイ」は少年という意味だったからです。

池田さんは17歳で軍に入れる年だった。この4歳も
下の年なのに軍に入る勇気があ、てすごいと思いました。
広島にリトルボーイ、原爆が投下され、多くの人の命が
なくなっていると聞くととてもビックリしました。

広島市の人口35万人、被爆者24万人、死者14万人と死亡率
40%でそれほど強いショックを受けた。たんだたと思いま
した。

けれど爆心150mでも助か、た人がいて、その人
は電話局の地下トイレにいて、コンクリートでかんじ
うにな。といたのて、すごい奇世きたと思いました。

私は原爆に4に行、たことあり、周りにはたくさん
のツルがあり、中には焼死してしま、た人を再現し
ている人形が4体くらいあり「本物をくつ」と書かれて
いたのでビックリしました。

この授業を受けて、いろいろなことがくわしく分
ったので家族にも教えたかと思、います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の授業を受けて原爆は改めて非さんたいなと思いました。

ぼくたちは100℃でも熱いと言っているのに3~4000℃はすさまじいと思いました。

でもウランが火然火売したの体休またけなのにこんなにいるいな物をはかいてしまうので原爆はこわいなと思いました。

テレビで原爆ドームをやっていたときでもこわかったのにそれよりもこわい話だったのでびっくりしました。

今の技術だとウランを60kg以上も火然やせてその爆たんを世界の中では持っている国もあると聞いて、ぼくは単戈争は絶対走らなくてほしくないと思いました。

ぼくは、ふつうのやけどでも痛くて重かけないのに3000℃でやけどしたら歩くこともできないと思います。原爆先生の言葉を聞いてもうこんなことは走らなくてほしくないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

この前はどうもありがとうございました。私は、
原爆先生の特別授業を受講して、思った
ことがたくさんあります。

私は、原爆についてあまりわからなくて、
「今日は大丈夫かなあ」と思っていたけど、
わかりやすく話して、とても勉強と
なったからよかったです。

「リトルポーター 3.12 X-ターで4ト」を
聞いた私はおどろきました。

3.12 X-ターで4トのリトルポーターが、
広島に落ちるなんて私はびっくり
しました。リトルポーターはバングラ
ダシュ落ちてきたと聞きましたけど、

ほんとは違っていると聞いておどろきました。
私は、原爆先生の話を聞いて、
なるえかとまりました。

私はあらためて原爆の怖さを
知りました。お話をしてくれて、
ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて原爆とは、
改めて、ヒットたものだとわかりました。
原爆で死んでしまった人14万人でその
の中の2万人もが一瞬にして、あとがたも
なく消えてしまい、しかも、生き残った人
々も大やけどを負い人間かどうかも分か
らないような、変わり果てた姿で、助けをこ
い、且かろうとすると皮膚がむけ、痛ん
でいる姿など、ぼくでは見ることもできず
でした。そして、死体の処理をすることを命令さ
れて、人か分からないような姿の死体
を処理していくのは、とてもつらかったと思
いました。しかも、これらの被害が1Kgのウラ
ンによって発生し、びっくりしました。リトルボーイに
入っていたウランの量は、60Kgで、爆
発したのが1Kgだけだったのでも60Kg
も爆発していたら、被害がどれくらい
になっていたのかが、考えるだけでも、
おそろしいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

原爆先生の話を聞いて戦争のつらさ、戦争の悲しさを知った。原子爆弾がどれだけの勢いを持っていたのかは知っていたけれど、中心部の熱さや、衝撃波の速さなどは全く知りませんでした。また、被爆者が命かけて水をため川へ向かっていく途中で倒れて死んでしまう人がたくさんいると想像すると胸がぞろぞろしてきます。さらに、あまりの被爆者数、死者数の多さにおどろきました。広島市の人口が35万人に対して被爆者数 24万人、死者数14万人で死亡率も40%と聞き、原子爆弾のこわさを痛感しました。そして、原子爆弾の破かい力はすごいなと思いました。この経験をここで止めないで生かし、次の世代へ伝えて行き戦争がどれだけおそろしいものか、どれだけ悲しいものかというのを知ってもらい、それをどんどん伝えていってほしいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私はこの授業を受講し、原爆のむごさにショックを受けました。私はこの授業を受講するまで、原爆についてあまり知らなかつたけれど、皮はへりりとたれさがりや、「人がいっしょで消えた」などの言葉で、原爆の3000°の地獄のような世界が思ひ浮かびました。やけどをして、くさってきた死体ののにおい、体液、顔のすぐ横に死体の焼けた声がある。そんなおそろしい事を、数日間やっていたなんて、私は考えただけでゾッとします。そんな事をやっていたなんて、かわいそうな気持ちと、すこしいなという気持ちでした。そんなおそろしい事の後でも放射線などで、苦しみながら生きていくなんて、私だったらたえられません。死体を運んでは、置いて、また運んでは、置いて...その繰り返しを数日間やるなんて、兵隊さん達はすごいなと思います。

私は原爆を見て知ったので、私が想像していたよりも、原爆はすごいと思うけれど、次の世代の人にもこの事を知ってもらって、今の平和な暮らしを続けてほしいなと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回の原爆先生の話を聞いて、原子爆弾のおそろしさを知れました。今までは、「原爆、てこわいな」くらいだ、たのがこの特別授業で印象が変わりました。

また、原爆先生のお父さんである池田義三さんが体験した話の中の爆心地の方から避難してくる人が助けを求め、手をさしのべて荷台に引き上げようとしたときに体の皮膚がはがれた、というのがとてもこわかったです。

私は、原爆先生の特別授業を受講して、広島や長崎に原爆を投下した国はひどいと思いました。今ある核兵器は原爆の何倍もあると聞いたのですぐに持つのをやめてほしいと思いました。

私は、このことを家族に聞いてもらい、原爆のひどさを知、てほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、原爆先生の話を聞いていて、胸が痛くなりました。なぜかというとは原爆で、会社が開かれるのを待っている人が黒い影のしみになったり、手をにぎっただけで、皮がはがれたりあるからです。さらに表面の温度が太陽の1000℃高い爆弾が地上600mにあると、地面が3000℃にまで上がり、人が一瞬で消えてしまうので、とても原爆は、怖いのだと知りました。今はその爆弾よりも強力な爆弾を世界中の国が持っている事から僕は、「爆弾なんていらないよ」と思いました。なぜなら、広島の前爆よりも、ひどい原爆が起これば、みんなが、いやな思いしか、しないからです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、改めて原爆の恐ろしさを知りました。原爆先生の話を聞く前は人々は痛みを感じる前に亡くなってしまふのかな、と思っていました。が原爆先生の話を聞いていると、人々の皮膚がはがれてしまったり、少しこすれるだけで激痛が走ってしまうほどやけどを負い、人間とは思えないほどの凄惨になってしまっているということで原爆の恐ろしさを感じました。そして原爆がウランでできていることも初めて知ったし、それにドラム缶が10mほど飛んでいってしまうくらいの暴風が来てしまったり、階段で会社がひらくのを待っていたら黒いしみのような物が残ってしまったり、人間が炭素で出来ているということも初めて知ったので勉強になりました。それに資料館の展示物がまだきれいと言っていました。が資料館の展示物もすいぶん恐ろしいと思うので現実はずっと恐ろしいと思うと「ゾッ」としました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

まず原子爆弾のおそろしさを改めて実感したい。
 この池田義三氏は17才で兵になったと聞いて、
 僕たちは今は72才であり、この時代であれば、後5年
 で兵に陥るといふことなので、とても驚きました。
 原爆を落とす候補となった都市は「広島」「倉
 崎」の順ですが実際に落とした場所は
 「広島」「長崎」なので、なぜ「倉崎」を選ばなかった
 のにらうかと思ひながら話を聞き進めると「天候
 が悪かったら場所を替える」とおっしゃっていたので
 納得できました。また「京都」という都市も候補に
 ありましたが、古い市街地から何どの理由で選ばなかったと
 おっしゃったので、これも納得できました。「広島に落とす
 れば原爆「リトルボーイ」は横長12m、これは普通だと思ひまし
 た。が重さが約4tだと聞いてとても驚きました。
 原子爆弾の表面温度は7000℃だと聞いて太陽
 より熱いので、これに当たったらどうなるかと思うと、
 とても恐ろしかったです。また中心は100万℃とも聞いて、
 さらに恐ろしかったです。この原爆が落とされたことで40%
 の方が亡られてとても胸が痛かったです。原爆病の方々に

協力できることがあれば協力したいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、あまり原爆について、知らなかつたので、5人に2人が亡くなつてゐるという事を聞いておどろきました。竜巻のような物におそわれ急に消えた人がいるという所で、もし自分だったらと考えると怖いしイヤだなと思ひました。体全体がやけどをおつていて、人間の姿ではなくなつてゐるので皮がめくれていてかわいそうだし、痛そうだなと思ひました。その時代にいた兵士は、見ているだけで胸が、痛んだんじやないかと思ひました。なので、池田義三さんも、考えるだけでも、怖いし、その時代の人達にしかきょうふも、痛みも、分らないんじやないかなと思ひました。これからは今の平和を考えて、原爆について調べていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆の事をあまり知りませんでした。なので、話を聞いて、ビデオを見たら、驚きと、こわさでゾクゾクしました。私は、皮ふがただく落ちたり、太陽より熱い爆弾が爆発したり、地面が約3000℃になるほど。実際はどんなものかわからないような話ばかりでした。また、原爆資料館の写真を見て、気持ち悪くなりました。けれど、被爆者は、それを見て、「きれいすぎる」と言ったのが本当に驚きでした。実際は、どんな光景だ。たかは分からないけれど、人間ではないような姿で、何も無い土地を歩いていた事を知り、原子爆弾は本当におそろいものだと、改めて思いました。そして、強い熱線が市内をおそい、座っていた時の黒い影が、残っている写真を見て、とてもこわくなりました。今でも、原子爆弾を持っている国々が色々あるけれど、絶対に使ってはいけないよ、と思いました。また、戦争も絶対にやめてはいけないと思いました。もうこんな事はなくてほしくなく、平和は本当に大切な事だと、改めて実感しました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ほくは この原爆の授業を受けずく
おとろいた事が一つあります。

それは原爆の温度や熱線のこと、
原爆の表面温度が約7000℃だということです。
太陽の表面温度は約6000℃なので、太陽
より熱い物が東京スカイツリーよりも少し
低い所で、熱をはらまれているということ
になるからです。そして地面の温度は
約3000℃にもなるので、人間の水分は全て
蒸発し、川も水が少ししか残りません。

そして、人間は約3000℃の風を体中に
あびることになってしまいます。そうすると、
人間の皮はさけて、肉がむき出しになって
しまいます。ほくは体中の肉がむき出て
しまうのは、ずく気色悪いと思いました。
でも、それでも生きようとする広島県の人
は、すごいと思いました。

ほくはこの広島原爆を知り、多くの人が
亡くなったので、こんなことは二度と起きてほしくないと思いま



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆先生の話を聞いて、原子爆弾を投下された時に自分が居た場所や、自分が住んでいた都道府県の実環境状態がアメリカ軍が提持していた3つの条件にあっているという理由だけで人の生死が分かれるのはとてもひどいことだし、あつてはならないと思いました。また、話の中にあつた、原子爆弾が投下されたとき、倉庫裏の人が見た親子や階段で会社が開くのを待っていた人が一瞬のうちに姿を消した様に見えたというのに驚きました。爆心地近くの遺体の片づけにあつていたときの話では、手を差し伸べて、トラックの荷台に引きあげようとしたとき、手の皮が火傷によってずる、とむけたという話をきき、それでも助けようとしたり、遺体やかれきの片づけをした軍隊の人はとてもすごいし、使命が出てやっていることだけれど、勇気があるんだなと思いました。最後の方の話にあつた広島原爆資料館に行った時の展示物を見た際の「きれいすぎる。」という言葉が印象に残りました。見た人にしか分からない悲しさはあると思うけれど、話を聞いた私たちが身近な人と話し合い伝えたいかなければいけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

この特別授業を受けて原爆のおそろしさを
知りました。しかし、自分今手に持っている資料だけ
では伝えきれないおそろしさがあるのだと分かりました。
衝撃の事実を聞いた時、被爆者の姿を想像
する時は、肝目をふさぎたくなるような気持ち
でした。広島に投下された原爆のいかに
どんなものか僕には想像できません。
実体験者が原爆資料館に行っても、他の
人がよく再現してくるよ...と言うのを止し、逆にうた
えたくなるような気持ちになると聞きおどろき
ました。僕は実体験者には分からないおそろしさ
があるのだと思います。

原爆についても知っている人は年々減っていくと
知り、もと原爆のこと広める必要があると思っ
ました。広めないで戦争の意識がうすれていく
からです。

やはり核爆弾戦争をしてはいけない
と改めて思いました。人の命をうばっては
いけない、絶対にうばってはいけないと思っ
ました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今日原爆のお話を聞いて、まず最初に思ったことがあります。それは、なぜ人が苦しんだり悲しんだりする原爆投下をしたのかということなのです。

そして「助けを求める人をトラックの荷台に乗せようと手を差しのべてもやけどをした皮膚がはがれ、手と手が離れてしまった」と知った時には、それが「実際に起きたことだ」と信じられませんでした。また、原爆を落とす都市の候補がいくつもあった中で広島に決まった理由が「天候が良かったから」というものだったのでとても驚きました。

手をななめ前に出して歩いている人の人形を見た時に私は思わず目をそらしてしまうほどだったけれど、池田義三さんは「きれいすぎる」と言っていたと聞いてどれほど残酷なことだったのかと思いました。

私は原爆の恐ろしさを知る貴重な経験が



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

僕は原爆先生の話を聞いて、途中から悲しくなってきました。広島市はほとんど焼け野原になってしまったと思います。熱線が人の皮がはがれてしまうなんて想像が全くつかない。「痛い」というものではないと思いました。ぼくは未だ1個投下された原爆で広島市の人口35万人の内の14万人が七くちてしまおんて原爆の力はおそろしいものだとお思いました。しかもそれが60kgのウランの内の1kgだけが燃えんて広島市の人口の半分の人七くちてしまおので60kgのウランが全て燃えんてしまおたら、想像のつかないほどの被害がでていたとお思ておりました。当時の技術が進歩してはかくて良かたお思いました。一番びっくりしたことは爆心地の近くの温度は太陽よりも熱い3000度だといふことであら3000度の原爆を受けてしまおと体内の水は全て蒸発し、白骨化してしまおと聞いて、その姿は人間じゃなくちてしまおとお思ひ、原爆のおそろしさをまた更に実感しました。爆撃機幾台が原爆を投下した後にけるおんて、ひとし人として最後だとお思ひました。この事は忘れてはいけないうことなので後世にどんどん伝えていきたいとお思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

僕は、池田先生の特別授業を受講して、再び原爆のおそろしさを知りました。池田先生の父、義三さんが出版された「広島の日間」の一部を聞いて、僕はなんとも言えない気持ちになりました。特に、「皮ふがすれ落ちる」という場面を想像したら手が震えてしまいました。そして、義三さんが広島市に行った時の「こんなやさしいものじゃない」という言葉を聞き、義三さんが見て来たものは、想像も出来ないとてもおそろしいものだと分かりました。

エノラ・ゲイからさつえいした原爆投下後の原爆ドーム(広島県産業奨励館)を見た時、むなしい気持ちになりました。また、エノラ・ゲイに乗っていた人はどういう気持ちでこの写真を撮ったのか僕は知りたいです。今後、原爆のおそろしさを伝えていくことは大切だと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原火暴先生の話を聞いて、今まで知らなかった事がたくさんありました。とくにたった1kgのウランで広島がこんなひさんな事になるなんて、とてもおそろしい物だと思いました。そしてもし60kgのウランを同時に使ったらどんな事になるかおそろしくて、想像もできません。そしてもう一つおどろいたのは、原子火暴弾のいかりです。原子火暴弾の爆発で階段に座っていた男の人が一瞬にして、かけだけになったなど、親子が炭になってバラバラになるなど、とても原子火暴弾のいかりは、おそろしいと思いました。ぼくは、もう二度と、戦争をしてはいけな、原子火暴弾は、使ってはいけな、と思いました。また、今生きてる戦争を体験した人達が若い人たちへ戦争はしてはいけな、と言ったことを伝えてほしい、と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆のことについて前まで全然知らなくてよく分かりませんでした。けれど、今日話を色々聞いてよく分かりました。原爆がこんなにビックリするなんて思おなかったし、原爆ドームとよばれてる元の名前も初めて知ることができました。その他にも今日初めて知ったことがたくさんあります。広島に投下された原爆の名前、候補になった都市、原子爆弾投下都市の条件、衝撃波の速さ、原爆が起きた日にち、このように、たくさん知ることができました。ここに書ききれないほど今日知ったことがまだまだたくさんあります。原爆はとてもおそろしいことだけれど今日知ったからこそ自分だけが知るのではなく自分の周りの家族、友達などに伝えようと思いました。そして、原爆のことを伝えた家族、友達などからも聞いた感想をたくさん、聞けたらいいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/2

原爆先生が話をしてくれた話は、とても悲しい話
でした。原爆のせいで人が何万人も死んでしまったので
私は、さきそうになりました。

原爆先生が話を通りに「リトルポーター」と言物は、今
の時代にはありません。ただ、バックダンという物がありま
す。バックダンとは、どこかにしつけて、時間とかけてバックダン
させる物です。バックダンとリトルポーターは、人を死してしま
います。たまにミスなのでバックダン、何万人の人た
らぬ死望しました。とりわけ、さきそうになりました。私は、とても
さきそうになり、心の中でおもいます。

原爆先生の話は、全部「勇気」がないとて、さき
そうになり、死んだら、死んだら、死んでいいる人の
ちかくでねたり、死んだ人を背中にのけたりする事
は、とても勇気がある人だと私は思いました。私だ
たら、勇気がなくてちかう場所に行くと、思いま
す。これからは、自死した人や殺人された人を見たら
勇気を出して警察に電話をし、さきそう車をよひい
でも多くの人を助けたいです。特別授業をしてくれて
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11/12

原爆先生のお話、私の心には強くひびきました。その中でも私が心に残ったことは、弟が大切なお姉さんのために、助けをよびにいったところだと思います。結果的にその弟は亡くなってしまいましたが、お姉さんのほうは弟のおかげで元気にすごすことができていました。これは、弟や原爆先生のお父さんやその仲間たちのおかげだと思います。

そして、今年は戦後70周年ということで私は、テレビや新聞で見ましたが、本当におきたことと思えないくらい悲惨でした。

私は先生の話聞いて、一度広島原爆ドームにいてみたいと思いました。先生の話以外にもどんなことがあったのか知りたいと思ったからです。

今日は本当にありがとうございました。私も家族や友達にこのお話をはなしてあげようと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/12

私は、原爆先生のお話を聞いて、改めて原爆はとてもおそろしいものなのだと感じさせられました。私は今年の夏休みに戦後70年ということで新聞やテレビの映像などで空しゅうの様子をたくさん見ました。しかし、このときは、ただ「原爆、てこわいな。」と思っていましたが、今回このお話を聞いて被爆された方は大やけどを負い、その方たちを助けようとした池田さんがとても悲さんな姿を見た、皮ふがはがれた人々がたくさんいた、このような内容のお話を聞いて原爆を体験したことのない私たちは、ただおそろしいこわいななどと思うだけではいけないと感じました。私は、一度広島に足を運んで「原爆」というものについて考え直し、このお話で聞いたこともふくめて次の世代に伝えていこうと思います。今回は、私たちのためにお話をしてくたさず、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/12

「ヒロシマの九日間」の一部、と7も心に
残りました。今まで広島に8月6日に原爆
が落とされたことは知っていましたか
こまかいことは何も知りませんでした。
「リトルボーイ」の落ちかた、「原子爆弾投下都
市の条件」なども初めて知りました。
17才で兵隊になることや、そして17才で
現地にいき、人を助けたり、そうさくをし
たり…。また17才でそんなことができ
るなんて私には考えられません。
で、それが現実で、70年前にはそ
ういうことがおこっていたと考えると、
戦争のおそろしさかすごく伝わって
きました。原子爆弾を使えばいい
けなし、そういう思いが今私の心の
中で、大きくなりました。そして、今
日は原爆先生のお話をきくことができ
てうれしか。たてず、本当にあり
かとうございしました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/12

原爆先生の話を聞いて、特にウラン1kgで広島市があたかもなく消えてしまったと聞き、もし60kg使っていたらと考えたら広島市だけではなく広島県自体に被害がおおふくじゃないかと思いました。また、被爆者のしげんで光ったしんおんに親子が消えてしまったり、コンクリートの階段にこしかけていた人が、黒いシミを残して消えてしまったりしたという話を聞いて、原爆の熱線や衝撃波の威力はとてもすさまじい物だと知りました。

学校の授業でも「平和のとりこを築く」という原爆の話をやりました。ほくは、「平和のとりこを築く」を読んだ時に原爆がとても悲しい事であり、後世に語り継いでいかなければいけない事だと知りました。さらに今回の原爆先生の話を聞き原爆がどれだけの被害があたかもさうにくわしく知ることができました。だからこれからは原爆の被害がどれだけのことをかたのかを忘れずにおと覚えていきたいと思います。今日は原爆の話を聞かせてくれてありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/12

ぼくは、原爆先生の話聞いて、村義三さんが十七歳という若さで軍隊に入ったということにおどろきました。そして義三さんの体験したことを聞いて、その場面が脳裏にうかび共感できるような気がしました。しかし、義三さんのおしる通り、実体験をしないとわからないものがあるのだと思います。また、原爆先生が原子爆弾の説明をされました。そこでは、ぼく達の想像を超える切実だと初めて知りました。また、言ってみれば上空600mに太陽がてきるということにびっくりし、それと共に原子爆弾の恐ろしさも改めて感じました。また、次世代を担って行くのはぼく達なのだから、七十年前の戦争を深く知り、考えを深めていきたいと思いました。また、七十年前の戦争の語り手が少なくなっている今、ぼく達が戦争を伝えて行かなければと思います。今回は、わざわざ学校に来てお話を下さり、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうごう

表

ぼくが今回原爆先生の話を聞いて思、たことはぼくたち今の子ども
 が想像も出きないようなつらい経験をしてきたんだなというこ
 とです。21さいで軍隊に入るのがおっつうなのに、17さい
 で入るなんてすごいというかとてもかないです。でも軍
 隊にはいらしていたおかげで衝撃波のおかげで無傷でやり
 すごせたんなら軍隊に入っていてよかたと思えるかなと思いま
 す。投下された原子爆弾(リトルボーイ)は上空600mで爆発す
 ると直径200mまでふくらむとすぐそこに太陽より熱いもの
 があると思おうと思、てもまったく想像できません。そして
 原爆の被害にあつた人たちは本当にひさんだらたなと思
 いました。服は破れ、ひふは真赤にしてただけ、ウジムシ
 までわいてまわつたんだから。ぼくは死ぬならふ、とんの中
 でねている最中に痛みなど感じずに一瞬で死にたい
 です。そして、池田義三さんが広島博物館で見た
 人形の人形の傷を見たとき言、た言葉「きれいすぎる」
 がとても印象に残っています。たぶん池田さんは実際
 に見た傷と人形の人形の傷が違、すぎる。実際はひどく痛
 ましいんだということ言、ているんだなと思、ました。ぼ
 くも機会があれば広島に行き原爆ドームを見たいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/12

今日の原爆先生の話を聞いて
ぼくは、国言語の授業でやった「平和
のとりこを築く」での原爆ドームの話
を思い出しました。原爆先生の話を
国言語の話をとらしあわせるし、多くの
ことがいっしょにいました。

そして今日の話を聞いてぼくは、
改めて原爆という言葉も恐く思っ
ました。そして、なぜ人間は、石皮かきす
るものはかりを作り出してしまふのか
が本当にぼくには、全くわかりません。
なぜそこまてして国と国は、敵対しな
ければいけないのかといくら考えても
わかりません。しかもそれを守るために
原爆ドームという世界遺産がある
のに、それから目をそらし、さらに恐いかく爆
弾を作るその考え方がわかりません。どう
かこのままかく爆弾をおとさないことと、
それ以上の恐い物を作らないことを願ひ

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com
たいです。

今日はぼくたちの学校にきて頂きありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/12

ぼくは原爆先生のお話を聞いておどろいたことが2つあります。

1つ目は、原爆が落とされた広島長崎以外にあらわれた都市が4つあることです。長崎と広島だけでもあれだけの被害がでたのに「他4つの都市にも同じ威力の原爆が落されていたら…」と思うとゾッとします。

2つ目は、原子爆弾の効果です。原子爆弾が爆発したら、直径200m、表面温度7000℃の太陽みたいなものが人を焼きやっけてしまい、衝撃波が毎秒440mという音速をこえたスピードで人をなびたおしていくことです。広島に落とされた原爆につまっていたウランは60kgで、爆発したのは1kgだけだったそうです。もしそのウラン60kgが全部爆発していたら、どれだけの被害がでていたか、想像もできません。

ぼくは、原爆先生のお話を聞くまでは、原爆の被害がここまでのもとは、想像もできませんでした。これからの未来でこんな事が二度と起こらないように、いひていきます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

1/12

ぼくは原爆先生の話を聞いて原爆はすごくこわいなと思いました。なぜならすごく原爆は大きくて中心の温度は約100万℃にもあり、その熱線が地面にたたきつけられるなんてすごくおそろしいです。しかも太陽の表面温度は6000℃で原爆の表面温度は7000℃で太陽より表面温度が高いなんてすごくビックリしました。そして原爆が爆発する速さは、毎秒440mなんてとても速いなと思いました。

当時は逃げる時に川に洋服をぬいでとびこんだ人がいるが、すぐに川はふっとうして熱くなりやけどした人がいたなんて、すごく原爆はこわいと思いました。だから戦争はやめてほしいです。原爆先生、原爆のことを話してくれてありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

ぼくは、原爆先生の特別授業を受けて、戦争はやってはいけないことだとあらためて思いました。広島に落とされた原子爆弾の恐ろしさ。熱線の直径が200mで、温度は約7000℃になり、まるで太陽が接近してきたみたいで、人間があたると炭のかたまりになると聞いてゾッとしました。皮膚に大やけどを負った人をトラックに乗せようとして、うでを引いたら皮がバロツとはがれたと聞いて恐しくなりました。被爆した人もそのおとたくさんせくな、てしまい、原子爆弾のすさまじさが分かりました。もし、ぼくが住んでいるところに落とされたらと思ったら、こおすぎて絶対いやだなと思いました。

原爆先生から、原爆のひさんさがより深く分かりました。これから先も戦争は絶対しないようにしなければと強く思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/12

原爆先生の話を聞いて私は前に
 国語の授業で平和のとりを築くとい
 う授業で原爆ドームの事を勉強しま
 した。しかし実際に話を聞いてみると
 教科書にはのっていない事や日本人
 ががちがっている事を知りました。
 私はおどろいた事が二つあり
 ます。一つ目は爆撃機エラ・ゲイ
 の名前がお母さんの名前が付けられた
 のがおどろきました。

二つ目は六十キログラムのクローキログラ
 ムで広島市を焼きつく事を知っ
 た事です。もし六十キログラムが
 全部もえ尽した事を考える
 ととても恐ろしく考えられません。

今回は貴重な体験談を聞かせ
 ていただきありがとうございました。
 この話を聞いて平和のありがたみ
 に気付きました



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

原爆先生の話を聞いて、原子爆弾は二度と落とすにはいけない。というか存在してはいけないと思いました。原爆が落とさねんかやけどをしている姿にしょうげきをうけました。3分ほどオにあった原爆が落とされ、階段に座っている男の人が一瞬で消えて黒いあとが残る映像を見てその一瞬で生命がうはれれたと思うとすごく残っていてじかすごく痛みました。そして、あそこにあった建物が一瞬でなくなり、しかもその後には火に包まれる。その3分の映像をみて、原子爆弾は非常に怖い物だと思う感じました。原爆先生が言った「世界には、かく火暴弾がたくあります」という話を聞いてすごく恐くなりました。でも、原爆先生の戦争の話を聞いて自分には分らない戦争がよくわかりました。ありがうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を聞いて衝撃を受けました。すごく前日本には、こんな事がある。と人だなと改めて思いました。原爆の恐ろしさと感力かかすごく伝わ、てきました。私は、戦争を忘れては、いけないと思います。理由は、原爆でこんなに苦しんでいる人があるからです。

これから戦争と原爆を伝えて行ってほしいです。私も原爆ゲームや資料館へ足を運んでみようと思います。そしてこの体験を生かして次の世代へ戦争や原爆のおそろしさ、二度とが、てはいけないという事を伝えていきたいです。

このまかいを設けていただきありがとうございます。この事は、絶対に忘れないで生活していきたいです。ほんとうにありがとうございます。また会えたらうれしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/12

私は、今回原爆先生の話を聞いて、色々な事を学ぶことが出来ました。私自身、以前沖縄県にある「ひめゆりの塔」に行って戦争の恐ろしさを知りました。しかし、今回の話は、私が沖縄県で学んだことよりも、怖く恐ろしい物でした。たとえば、爆弾の表面温度は太陽の6000℃を起える7000℃ということ、爆弾の中のウランが燃焼したのは、60kg中1kgでその小ささでも、広島市を焼きつくしたこと。また、この原爆で亡くなった方は、広島市の人口の約4割で、5人に2人が亡くなっているということです。私が、このことを聞いたり見たりしたことは、これから先役に立つと思います。身近な人家族や友達に今日学んだ事を話して、少しでも、戦争の恐ろしさ、原爆の恐ろしさをみんなに伝えていきたいです。これを聞いたみんなも、また、伝えてこの国が笑顔あふれるようにしていきたいです。今回このようなお話をしてくださりありがとうございました。また、私たちに話をしに来て下さい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/12

「7000℃の少年。私は、原爆先生の話を聞いて、原爆が投下されたことで多くの人生が左右する。それは、とてもおそろしいことだと感じました。私は、「7000℃の少年」というタイトルを聞いて、「どういう意味なんだろう。」と心の中で思っていました。しかし、その「7000℃の少年」リトルボーイによって、被爆者数が24万人にもなり、とても悲惨な状況におちいてしまったのだと思いました。

池田さんの父、義三さんは、17才という若さから、陸軍に入隊して、様々な被爆者を助けている。私は、義三さんがしたことは、勇気がないとできないことなのだと感じました。人々の悲惨な体と向き合いながら、努力を続けていた義三さん。そのことについて、くわしく説明してくれた池田さんは、偉大で素晴らしい人だと思います。原爆先生の特別授業をしていただき、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/12

ぼくは、原爆先生の話を聞いておもしろいことがありました。それは、「足かけをまとめて、手をつかんでかあがむけた」といったところでどのようにむけたのかをそろそろするとりはだかたちました。そしてもう一つは、蒸気泉です。600m上で火暴発してその温度は土也上ただけでも3000℃ぐらいの温度で上空では7000℃をこし100万℃もあると言っており3000℃という温度がどのような温度かわからなかつたが原爆先生が「氷がしゃんてふ、とうする」と言っていたのでその時わかりました。ほかにもリトルボーイという原爆の落下そくどが300Kmもあつたということにびっくりしました。タンクから死体をおぶって出すことも勇気がないとできないことをしてすごいと思いました。原爆先生、原爆のことをくわしくおしえてくれてありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11/12

私は、原爆先生のお話を聞いて、とってもビックリして勉強になりました。今ではありえない事で考えるだけでもとってもこわいのにも、池田義三さんはまだ17才なのに、こわい思いをしなから活動して本当にすごいと思いました。学校でも、「平和のとりでをまぎく」という広島のことを学習してとっても悲しくてビックリするお話がたくさんありました。でも、原爆先生のお話を聞いて初めて知り、大事な、貴重な映像や画像を見たりするところから、とっても素晴らしいお話が聞けて本当によかったです。前は、あんまり興味なかったけど、原爆先生のお話を通して知りたかったことがたくさんありました。今日は、とてもお話しの中で大切なお話をしてくださって本当にありがとうございました。とっても、勉強になって今の生活は平和だと改めて思いました。貴重なお話をありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/12

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いてはくは
すこく衝撃をうけました。

特におどろいた所は、爆発した
時にできる球体の温度が表面だと
700℃、中心は100万℃という所です。
恐怖というよりもすごいと思いま
した。あんなにすごい原爆なのに、
60kg入っていたうちの、1kgしか
爆発してないのに、60kg爆発した
らどんだけすごいかと考えるだけ
で、^恐いのです。

戦争は、かなしみや、苦しみの
悲劇しかうみません。日本は、
唯一の被爆国として、その経験
を他の国の人や、後世の人達に
伝えていかなければいけないと
思いました。二度と戦争のない
世界にしていきたいと思ひます。

とてもためになりました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/12

名前は裏面に記入してください

ほくは 原爆先生の話を聞いて
心の中でこの1つ(か)と思いました。
話を聞いてこの原爆で多くの
人が亡くなってしまいました。広島市の
人口35万人で被爆者数24万人
で死者数は4万人強です。しかも
死亡率40%達したなんて考えら
れません。ほくは、池田さんの気持
ちを考えた人を目のけることは身
がひつおっなんだおと思いました。
ほくは、1分1秒は時速300
kmでおちってくるなんて、やだに
おれおれと思います。原爆は1発で
24万人の人がひがいをうけるな
んてやだと思いました。ほくは原
爆先生のお話をきいて原爆は
とてもこれほどひどいと思いました。お
話をしてくださってありがとうご
ざいます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/15

原爆先生の話を聞いて、ぼくは、今の時代を生きてきて、考えられないほどつく、悲惨な出来事だったと思いました。特に、おどろいたことは、原爆が火暴発して、一瞬で人間が亡くなってしまったことです。原爆先生のお父さんは、原爆が投下されても、生きていたことは、すごく幸運だったと思いました。

しかし、原爆によって、亡くなってしまった人間は、とてもかわいそうだと思いました。それに、たった1回の投下で、広島市の人口の40%の人が、亡くなったので、ぼくは、世界中のどこでも、もうこんな戦争なんかや、原爆を投下したりしないで、ずっと平和のままで、暮らしていきたいです。ぼくは、改めて、この時代に生きてた人間は、本当にかわいそうで、戦争なんてやっても意味のないことだと思いました。この話を聞いていなければ、今もお知らずに生きていたと思いました。なので、その話をしてください。原爆先生、この話をほかの学校でも話を、して、多くの人にこの戦争のことを知らせてください。今回は、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/12

ぼくは、原爆先生の話を聞いてすぐおどろきました。7000℃それは太陽よりもっと熱い温度。ぼくは、歴史が好きですが、でもこんなに原子爆弾が熱いとは知りませんでした。池田義三さん17才という若さで軍隊に入っているなんてすごく度胸のいることだと思います。ぼくの姉は、今18才です。もし、池田さんと同じ時代で男子だったら、軍に入っているでもそんなことは考えられませんでした。広島に投下された原爆が「リトルボーイ」というのは、しりませんでした。ぼくは、まるで1000トンの火暴弾がと思いました。そして、そのリトルボーイが600mにしているだけで地上に3000℃もの熱が伝わってくると思うともう考えられませんが、というよりもずっとけていると思います。ぼくは、原爆ドームを4にいったことがありません。とてもきょうれつで小さなぼくにもつたありました。ぼくは、これからも原爆ドームがある意味を子孫につたえていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/12

ぼくは、原爆先生の話を聞いて、おどろきました。なぜなら、ぼくがそうぞうしていたのとまったくちがったからです。

ぼくがそうぞうしていた広島県でおこったことは、建物が少しこわれるぐらいで、死者も全然でていないものだと思っていました。でも、原爆先生話を聞いて、ぼくが思っていた広島でおこったそうぞうは、なくなりました。

原爆先生の話の中で、10才の男の子の出来事がすごくいいしょうてきでした。その10才ぐらいの男の子のおねえさんは、いまも生きていると聞き、ぼくはあの男の子は、勇気があるなと思いました。今は、その男の子は生きてませんが結果的におねえさんはたすかたので男の子にとってはよかたと思います。

このような話が聞けてよかたです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/12

今日は今日、原爆先生に話を聞いてあらためて悲惨に思いました。今年で原子爆弾が投下されて70年を向かえたことをニュースで見ました。ニュースで安倍首相が核の三大原則「持たない」「造らない」「持ち込まない」というのを耳にします。当時から今現在でも持っている国があります。その国は原爆をなくしてほしいと思いました。

当時では広島に35万人いました。しかし死者数は14万人で、そして死亡率が40%に達しました。これを見てとても悲惨に思いました。

この大くさんの人を助けることも勇気がいるといいます。

自分たちだけではこの作業はできないと思いました。

この体験から広島に足を運んで原爆が落ちた原爆ドームを見て考え直したいです。

また、当時大くさんの人たちが被害にあつたことを次世代へ伝えることが大切なことだと実感しました。

本日は原爆の構造や原料などのことを教えていただきありがとうございました。この体験を意識していきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、今日の池田先生の授業を受けて思ったことは、原子爆弾の恐ろしさがおかる授業だと思います。広島におちた原爆は、「リトルボーイ」日本の意味では、「小さな子」または、「少年」という意味だと聞いたときは、どうして、こんなに恐ろしい物にどうして「小さな子」と「少年」という名前をつけたのか疑問になりました。そして、「リトルボーイ」は、投下目標地より、200mはなれた土場戸所の上空600mに投下しました。しかし、原子爆弾の原子「うらん」は、全部で60kgあります。その中の1kgしか、熱焼しなかつたのです。それなのに4mも衝撃波、放射線が広がったのです。そして、私は、思ったことは、どうして、平和な場所こんな恐ろしい物をおとしたのかです。そして、授業で、一人、原子爆弾がおちても無事だ、た人がいたそうです。それを聞いた私は、ほっとしました。今日の授業を教えてください

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com が とうご

11月12日

いまい



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/12

今日は、原子火暴だんの授業を
 ありがとうございました。広島に落
 れた火暴だん「リトルボーイ」の重さが
 27トンと思いましたが4トン上とは思
 いませんでした。投下される候補になつた都
 道、広島、長崎のほかは横浜、小倉、京都
 などが、候補になるとは思いませんでした。
 ウランの量が60kgがあつたのだから
 だけ燃えて、それで広いはんに家のす
 べてが、ぶっ飛んで行ってしまつたり人が
 蒸発されて飛ばされ、大やけどを負つて
 皮膚が、むろと落ち、あつた水のたけ
 でこんなにかがむなるなんてすごく恐ろ
 しいとよく分かりました。もし、60kgが燃
 えた中国半地方の半分以上たつた人の
 害が、ぶっ飛んで、死者や災害が史
 上最高になると思います。今日は、授
 業を受講させていただきありがとうございました。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/12

今日、原爆先生と授業をして、原子爆弾の恐ろしさを知りました。とくに、被爆者が「兵隊さんに、助けて〜などそういった苦しんでいるところが、すこぶ心に残りました。ぼくはこの話を聞いて、原子爆弾で、熱線、衝撃波、放射線がこんなに広島をはかいてしまうほどの破壊力があるとは思いませんでした。この爆弾で35万人中24万人も被爆者が出る中の14万人は死亡という多くの命がうばわれるのはつらいです。ですが、ウラン60kgの内、ウラン1kgだけが爆発したので、ウラン60kgという大きな被害まで及ぶのです。もしウラン60kgが落ちていたら広島は壊滅的だと思いますが、どうして核爆弾という恐ろしい物を造るのか疑問に思うし人間として失格だと思えます。そして人々が死亡していくのを悲しむ人も悲しい人達は血も涙もないのかと言いたくなるほど悲しいです。でも現実とは思えません。でも今でも核爆弾を造っているそうです。ぼくは、核爆弾を造るのをやめてほしいです。池田先生、今日は、ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、今年授業で原爆の事を調べました。ですが、今回の特別授業を受けて、その時に分からなくてナゾだった事がたくさん分かりました。たとえば原爆投下都市の条件です。第1候補の広島で広島が悪かたら第2候補の小倉になり小倉が悪かたら第3候補の長崎も悪天候なら中止という事になっていたのは知りませんでした。原爆の恐ろしさは十分知っていたつもりでしたが、池田先生の原爆の話聞いて自分の想像を絶する残酷さで思わずとりはたかたてしまいいふるえてしまいました。ぼくは、池田先生が言っていたあるマンガが家の人から原子爆弾にパラシュートがついてたがあれは間違いとされてとてもびくりました。ぼくは、そのマンガを読んだ事があるがパラシュートは本当はついていなくてパラシュートがついていたのはラジオゾンデという天候や風向きを量る機械で作者が間違えて先にパラシュートでおとしたラジオゾンデという物だと知ってとて印象に残りました。ぼくは原爆の恐ろしさをしっかりと後世に伝えていきたいです。池田先生のお話を聞けてよかったです。おかげさまで。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今日の特別授業で初めて知ったことがたくさんあった。中でも、原子爆弾投下候補が6つあったことは、聞いた時おどろきました。なぜなら、私が知っていたのは、原爆が落ちた「広島」と「長崎」のことだけだったからです。また、広島に投下された原爆がリトルボーイというので、とても工夫されていたことも初めて知りました。このように、初めて知ることがたくさん、すごく勉強になりました。ですが、私は初めて知ったことだけではなく、初めての感じも体験しました。それは、原爆先生が、原爆が投下された時の音「パーン」と言われた後です。それまでは少し寒くふるえそうでした。ですが、「パーン」と言われた数秒後、首の辺りが熱くなりました。それに夏の暑さです。また、原爆先生が、被爆者を背負っていく様子を話された時、またこごえるような寒さを感じました。この2つの体験は、原爆のことについて知っている原爆先生が話されたからこそ体験できたのです。ですが、本当にその地に行った方とは、比べ物にならないと、私は思います。この体験私は一生忘れないと思います。また、一番おどろいたことは、原爆による死亡率が40%にもなったことです。40%と聞いても最初は「えっ」と思うばかりでした。ですが、5人に2人と聞いてとてもおどろきました。最後に、今日は特別授業をしていただきありがとうございました。今日の授業をこれからにいかしたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/12

今日は特別授業の先生として教えていただきありがとうございます

一番心に残ったことは、人が一瞬で人の中の水が蒸発し炭のようになつた人を衝撃波が襲い一瞬で人が蒸発したように見える。と怖いことでもぼくはなぜ鉄を融かすような温度ができたのが驚きました。

それと、ウランが60kgもついでいる。"ルポーン"という原爆が1kgしか爆発しないのでかたと思ひました。

でもアメリカの人たちは、少し日本のことを思ってくれているんだなと思ひました。

それは、京都に落さなかつた理由が人にとって重要な建物があるからというやめた理由から思ひました。

今日は特別な授業をしていただきありがとうございます。改めて核爆弾や原爆は悲惨なと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

1/12

ぼくは原火暴先生のお言葉を聞いて勉強になりました。理由は、原子爆弾の事を教えてくださったからです。まあお言葉を聞いて気になった事が原子爆弾で亡くなった方や被爆者の方のお話でした。お話の中には悲惨な話があり、その事を考えるだけでも悲しい気持ちになってしまいました。原子爆弾で亡くなった方は何と14万人で、被爆者の方たちは24万人もいたそうです。そして無事だった人たちは木亟おちがかしかなかったように広島に落ちた原子爆弾の名前はリトルボーイ。少年という意味らしいです。そしてリトルボーイを乗せた飛行機の名前はエノラ・ゲイ、という名前です。正式な名前はB-29です。エノラ・ゲイという名前は、パイロットの母の名前らしいです。そして原火暴先生のお話を聞いて分かった事は、原火暴の恐ろしさ分かりました。ありがとうございました。



じゅごう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/1

原爆の授業を受けて、原爆のこわさをあらためて
思いました。前までも、テレビなどで原爆のことを取り上げて
いるのを見ていて、こわいものだと思っていたけれど、この授業
でくわしいことを聞くと、たゞくおそろしい兵器なんだと思いました。

原爆を落したのは、B29爆撃機というのを知っていた
けれど、エノラゲイと呼ばれていたたり、その名前がパイロット
の母の名前だというのは知りませんでした。

広島に落とされた原爆は、ウランが使われていて、
長崎に落とされた原爆は、プルトニウムというのが使われた
のを知りました。原爆には、ウラニウムが使われていない
と思っていたのでとてもおどろきました。

そして、実父祭に体馬食した人の言もきくと、おふがただ死
んでいたとか、親見子が一人にして消えたりと、とてもお
そろしかったです。

原爆が落とされたのが広島と長崎だけだから、
横浜、釜戸、京都も、1度夜間になっていたとは、知
りなくて、とてもおどろきました。

今回は、約90分間、原爆について、言ましてくださ
りありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/2

今日、一番印象的なのは、1kgの問題です。1kgニワランの重さというのが想像できませんでした。1kgニゴルフボールと同じ大きさと言われたので、分かりやすかったです。しかも、ワラン原爆1kgで広島県がぶん、き飛んだというので、恐ろしかったです。二つ目は、原爆のリトルボーイの話です。B29爆撃機エノラ・ゲイにつまられた「リトルボーイ」という原爆におとして広島を破壊しました。そして、ラジオゾンデというものをのせていて、レーダーをとおして色々な情報をえていた。というお話を聞いてこの時代、けっこう技術者がすごいななと思っていましたが、実はそんなに進んでいないと聞いておどろきました。今日は北町西小学校6年に原爆をお話いただき誠にありがとうございました。



名前は表面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/12

私は、原爆についてほとんど知りませんでした。池田先生は私たちに当時17さいだった池田義三さんの事について話してくださいました。その中でも私が印象に残った話は、原爆を受けてしまった人たちがうでを上げて歩いて助けを求めるところです。私は、お母さんからその話を少し聞いた事がありました。その時私は、その事を初めて知りとてもおどろきました。その後私は、その人達の事をずっと考えていました。人間が人間ではなくなる時は、そのような事になってしまったのだと思いました。私は、その残さくさは、その場で見た人しか分からなくて、どうやってひどく苦しみ、痛みを感じられるのは被爆者だけだと思いました。私はどうしてもその場面が思いつきませんでした。私にとってこの事はとても信じられる事ではないからだと思います。人間の死体が目の前にあるという事が当たり前になる事があるなんておそろしい事だと思いました。私は当たり前で構いなくて初めて感じました。今日は、初めて感じる感情がたくさんありました。そして池田先生が話してくださいましたきょうなお話をこれからどうして覚えておきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/12

ぼくは、原爆の被害のうらにこんなにも恐ろしいとは知りませんでした。(主に知っていたことは、死者数が14万人ということでした。) 今日お話を聞いて印象に残った話は、二つあります。一つ目は、原子爆弾の名前が「リトルボーイ」ということです。なぜこの話が印象に残ったのかというと、「リトルボーイ」を直訳すると小さな男の子(で)小さいというイメージがあります。でも実際話を聞いてみると、広島を破壊する(瞬時に)威力があるということを知ったからです。

二つ目は、池田義三さんが「原爆資料館」を訪れたとき被爆した人の人形があり、「キレイすぎる」とおっしゃられたことです。なぜ印象に残ったのかというと、なぜ皮ふがはがれおちているのに「キレイすぎる」とおっしゃられたのかが気になったからです。ぼくはたぶん実際と比べてみると全然ちがったからだと思います。

これから、原爆のことを家族や友達と話したいです。档にありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/12

今日の授業で原子爆弾の恐ろしさを学びました。例えば、熱風により人が一瞬にして消え、炭になってしまうことや、死亡率が40%もあること。また、義三さんが体験した助けようとしてもすべ、と助けられない、死体の焼却などを想像すると、地獄のような世界が思い浮かびます。他にも、ウラン1kgで広島という大都市を破壊できてしまうことに、ものすごく、恐怖を感じました。

今、日本は、核爆弾をなくそうとしています。それは、日本が唯一の被爆国であるからこそ、できることだと思えます。これからもこのことを実行してほしいと思います。今回の授業で改めて戦争をしてはいけないな、と思いました。

原爆により、被爆した人たちは、かわいそうだなと思いました。

今日は、原爆の恐ろしさを教えてくださいありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/12

私は前に「平和のとりてを築く」という授業の時に広島原爆について調べました。調べた時「原爆って恐ろしいな」という気持ちでいっぱいでした。亡くなった人の多さや、原爆症を知って次に伝えなければいけない」という気持ちでした。そしてこの授業でたくさんを知り、この2つの気持ちがさらに強まりました。原爆を投下したB29爆撃機エノラ・ゲイ。その名前が搭乗者のチベット大佐の母の名前だったこと。原爆の衝撃波が音よりも速いことや、あんな爆発を起こしたウランが60cmの中ゴルフボールくらいの大きさだったことなどを知って私がどれだけ原爆のことを知らなかったかがよく分かりました。また、今日この爆発の1000倍以上の爆発がおきる原爆をいろいろな国が保有しているのを考えると一刻もはやくなくなってほしいと思うばかりです。私の祖父は幼い時広島で原爆にあいました。幼かった祖父も原爆先生のお父様が見た光景を目にしたのでしょうか。少なくとも私に分かることはこの恐ろしさを知る人が減っていきってしまうかも知れないということです。だから私はこれから家族やまだこのことを知らない人へ伝えていきたいです。またまた原爆よりもと威力のある核兵器があること、8月6日に起きたことはどんなことよりも恐ろしく悲しいことであることを忘れないように心に刻みたいです。今日は原爆のことをたくさん教えてくださいありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/12

今日は、ありがとうございました。池田先生の
教え方が良くて、とても分かりやすかったです。
前半の方でいっていた原爆をおとす
候補になった都市を聞いた時、関東の横
浜が候補だったと聞きとてもビックリし
ました。そして、爆弾の落ちた時の
ビデオを見た時は、一瞬にして人が
消えてしまったことにとてもぞっとしました。
ぼくは、広島原爆資料館に行ったこ
とがあり、原爆のやけどした人の人形が
たくさんおいてあり、とてもその時は、
その時で原爆は怖いなと思っていまし
た。ですが、今日もう一度このことにつ
いて勉強して、改めて原爆は、怖い
ものだとなりました。ぼくは、広島に
落とされた原爆が広島に住んでいた人
の35万人のうち14万人の命をうばったこ
とは、とても広島に住んでいた人がすごくかわ
いそうだと思います。原爆について教えていただき



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/12

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して、原爆の恐ろしさを知りました。なぜかという、川の水が一瞬にして蒸発してしまうなんて、凄く熱いんだなと思ったからです。もっとおどろいたところは、ピンポン玉くらいのサイズで、広島がほろびてしまうところ。原爆とは、とても恐ろしく、多くの人を簡単に殺せる物なので、『原爆なんて、消えちやえ』と、ぼくは思いました。今後、このような事が起きないよな仕事を営みたいです。原爆を落としたり、たくさんの方が死ぬだけで、何も楽しく面白くもないので、戦争は絶対したくありません。最後まで原爆の恐ろしさを教えてありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

11/12
表

特別授業を行ってくれてありがとうございます
ございます。原爆のおそろしさか
いままて以上に分かりました。

エノラガイが約4セもある原爆
広島まで運ぶところが、あ、ては
いけないことですが、すごいと
思いました。ほくほ池田先生の
特別授業を見て、聞いて平和の
大切さが分かりました。

ほくほ池田先生のお父様
池田義三さんのように若くても
戦争に行きたくなくとも
行かないといけない世の中
を造らないようにしてほしい
です。

この特別授業のことを家族
や友達に話そうと思います。
本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 12

ぼくは、ヒロシマの九日間を聞いて原爆は、いやだなと思いました。近くにいる人が放射線^{放射線}で水分がなくなると衝撃^{衝撃}が波で伝わり、なになに(まっ)はがれ、それで、ウラン60kgが入っていた内の1kgがぼくを殺したくらいのもので、い被害をうけるのは、60kgをぼくを殺したなら日本全国が被害をうけると思います。一番ひどい事は、ぼくを殺した原子が、3600mの地面が3000℃で全滅^{全滅}がとける、温度が1500℃を奪いで人間は、一瞬で「ボロボロ」になると思っています。広島に投下されたぼくだん「リトルボーイ」は、約14万人の命をうばいました。そのぼくだん一つで約14万人の命をうばわれるのはとてもおそろしい事です。この授業を受けて原爆は、とてもおそろしくて、「い物だ」と改めておわかりました。なぜ外国は原爆をあるのがおわかりせんか、やめてほしいです。池田先生、原爆についておしえてくださってありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/12

私は、原爆先生の特別授業を受講して、改めて原子爆弾の恐ろしさを知りました。それまで私は広島原子爆弾について、全然知りませんでした。17才で陸軍に入隊し、1年足らずで、広島原子爆弾の音で、ふき飛ばされた時、訓練の時と同じかこうだったというのがすごいことだと思いました。私は日本から約3000kmは離れた、マリアナ諸島、テニアン島が日本の広島と長崎 2ヶ所に原子爆弾を落としたのが不思議に思いました。広島に落とされた原子爆弾の名がなぜ「リトルボーイ」(少年)というのが不思議に思いました。私がおどろいたことは、衝撃波の速さです。毎秒440mで、音速が340m/秒というのがおどろきました。

私の心に残っていることは、10才ぐらいの少年が、兵隊さんたちを、自分の弱っている姉の所へつれていった所です。私は原爆先生のお父様のようにわかに負に原子爆弾と向き合い、こわくなかったのかなと思いました。原爆先生、今日日貴重なお話をしてくださる、ありがとうございます。ございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/12

90分かけて、原爆の話をしていただき、ありがとうございます。原子爆弾の恐ろしさに声もでませんでした。二度の原爆投下の事実を知るとてもこわかったです。被害者の中に皮がはがれおち人間のような物、という事がとても印象に残りました。エノラ、ゲイB-29が落とした原爆の恐ろしさから心から伝わってきました。話を聞いて爆弾を想像しても、想像しきれませんでした。空気が一瞬のうちに真空になり、なぜか波がおそい建物がかすれ、このような事がおこるのが、とても現実のように思えませんでした。

「トリトボーイ」と言名前とは想像しがたい方として今後絶対このようなことが無いようにしたいです。原爆の恐ろしさなど、伝えて頂き、ありがとうございます。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/12

私は、今まで原爆とは何なのか良く分かりませんでした。でも池田先生の話を聞いてからとて面白い物だと分かりました。原爆は、4トンの「リトルボーイ」という大きな爆弾なんだから。「リトルボーイ」という名前は、初めて聞きました。私は最初、7000人の少年とは、何なのか分かりませんでした。でも池田先生の話を聞いてみると、7000人の少年とはリトルボーイのことだと気が付きました。アメリカが考えた原子爆弾投下都市の条件を見て、面白いと思いました。私は今まで、原爆は、場所を決めて落としていたなんて知らなかった。「そんな条件を考えていたんだ」と面白くなりました。そして候補になった都市を見て「京都も入っていたのか」とおどろきました。原爆には、熱線、衝撃波、放射線があり、そして、原爆病は今も苦しんでいる人がいることを知りました。そして、最後に見た映像で、池田先生の祖父さんが、その時のじょうきょうを話していて、そして、と申すなれば流れていて、原爆の怖さかとても伝わりました。今回、池田先生に色々お話ししてもらい、原爆のおそろしさがとても伝わってきました。ありがとうございます。私は、このお話を二度と起こさず、ほくそくすと思いをしました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

1/12

今日は、原爆の言葉を2時間続きまして下さってありがとうございます。

ほくが今日学んだことは、池田先生の父、池田義三さんが陸軍に命令で「17才という若さで」入れられたこと、原子爆弾投下都市の条件があること、広島に投下された原爆が「リトルボーイ」ということなどです。

次にほくがびっくりしたことは原爆が「ふくれ上がり、直径200mまで」広がり、地上で「直径3kmの円上に広がった」ということ、表面温度が約6000度あったこと、衝撃波の速さは毎秒440m(音速340m/秒)ということでした。

そして、すごいと思ったことは、たった1kgのウランで(ゴルフボールの大きさ)3km広がったこと、電話局の中の地下のトイレの中で生きていたことです。

そして、今も原爆病にかかり苦しんでいることを知りとても悲しい気持ちになりました。

今日は原爆の言葉をありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/12

私は、広島^の原爆^{について}。今までよく知りませんでした。しかし、今日、池田先生の話を聞き、原爆のおそろしさが、とてもよくわかりました。そして、候補となった三つの都市では、さまざまに被害にあつたことがわかりました。「リトルボーン」は、被爆者24万人、死者14万人もだしてしまうとてもこわいものだと思います。

また、たった1kgのウランで、これだけの人数の命をうばってしまう。ということにおどろきました。今現在、「原爆病」にくるしんでいる人が何人もいます、と思うと、どれだけ原爆がおそろしいものかがよくわかります。

私は、今日の池田先生に教えていただいた「広島原子爆弾投下」についての話は、絶対に忘れません。今日は、授業をしていただき、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/12

今回は、原爆についていろいろ教えていただき
ありがとうございました。広島で起こった原爆の
ことを、改めて、いろいろ知ることができました。
私は、義三さんの日記とともに小説となかを 読ん
でみたいのです。今回のお話を聞いたら、さあ、ことをすこ
くわしく知りたい。爆心直下 3~4000°C の温度で
落下したということ、熱線、衝撃波、放射線、
人は、苦しみつづけ、命を落としていくということ。私は、
このお話をしているとき、ふるえがでてきました。原爆というの
は、こんなに、おそろしいものなんかな、と、いろいろ人に
話をしたい。私は、そう思いました。私は、このお話を聞くまで
広島に来て自分たちには、別に関係ないから、どうしていいか
思っていました。だけど、このお話を聞か、心は、さががっきました。
原爆はみんなにとって忘れては いけないものだという
こと。私は、原爆資料館に行き、原爆のおそろしさをもっと知り
たいと思いました。そして、実際に原爆にあった、池田義三さん
を尊けいしたいです。そして、お話を聞いて、この題名の 17000°C
の熱という意見が分かりました。今日は、本当に
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/12

今日は原爆についてくわしい話をしてくれてありが
とうございます。ほかにとって話を聞いていて一番おど
ろいたことは原爆の温度がすごいです。200mの球体
でも中心部分は100万ともあるということです。
そして外側が7000度。太陽よりも温度が高いとい
うのに怖おとりました。地面についても3000度
という温度を保っているということもおとりました。
それから衝撃波の速さが毎秒440m。音よ
りも100m進むのが速いといふのにはきょうい的な
スピードだと思えます。その後広島市は原爆を
落とされて死者数が14万人。死亡率が5人に2人が死亡
といふのが聞いていてすごかったです。そして島で
被爆を受けた人の2人は一瞬で死んでしまった
といふのも衝撃的でした。この原爆先生の
授業を受けて原爆の恐ろしさが改めて
分かりました。だからこれからこの授業で
教わったことをみんなに広めていきたいと
思います。今日は原爆の話を話して下さり
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

11/12

今日の授業では「原子爆弾」の恐ろしさを改めて知りました。やけどで全身に傷を負った人、一瞬で消えた人、様々な被爆者が目に浮かびました。また、「義三さん」が広島で実際に体験した「荷台に被爆者を乗せる際に、手の皮がむけ、肉となった。」このことを想像すると、悲しみや憎しみ、哀れさが頭をはしります。また、「爆弾投下の場所を決めるために「目標設定委員」を結成してまでも、原爆を投下して日本に被害をあたえたいのか。」と思います。

原爆に使用された「ウラン」。1kgで広島市を襲ったのなら60kg あたるときは、中国地方全体を壊してしまうのではないかと考えました。

戦争の恐ろしさ、原爆の恐ろしさを知った上で、やはり「安保法案」は危険なことだと思います。戦争をすれば、いっ昔の暮らしへ戻るか分かりません。今回の授業で知ったことは自分だけで終わらず、家族や友達とも話していきたいです。今日は貴重な体験をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/12

私は、原爆先生の特別授業を受講して、改めて原爆の恐ろしさを知りました。そして、原爆を落とす候補になった都市が広島、小倉、長崎の他に横浜、新潟、京都と6つの都市が候補になっていたということを知りました。なぜ、京都には落とさなかったかという、人間にとって重要な文化財があるからだそうです。私はなぜ、そのような考えを持っているのに、3つの都市に原爆を落としたのか疑問に思いました。

広島に投下された原爆は「リトルボーイ」と言い、重さが約4トンもあります。その原爆はウラン原爆で、ウランが60kg積んでありました。実際は1kgしか燃焼しませんでした。たくさんの人々がものすごい被害を受けました。もし、60kg全部燃焼したらと考えると、とても恐ろしい気持ちになりました。

この授業で教えていただいたことを今後の生活にいかしていきたいと思います。また、原爆の1000倍もある核兵器のことも考えていきたいと思います。

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

11/12

私は、この原爆先生の授業を初めて知ったことがたくさんありました。

とくに一番心に残ったのは、生きているのに何故このせい子、性別が分からないなどの事が一番つらいと私は思いました。

手をさしのべたけれど、体の皮が取れてしまふ、おちてまた人などもいたそうです。私は、このようなことが実在にあつたことが今たに信じられません。

池田先生のお父さん池田義三さんがどんな思いで、被害にあつた人を助けつたのたろうと思つました。

広島市の人口は33万人で、被爆者数は24万人で死亡者数が14万人たそうです。そして、この広島の死亡者率は40%もあるそうです。

「5人に2人は、亡くなつてゐる」と言う話しを池田先生が話してくれました。

そして、この被害を起つてゐるのが「リトル・ボーイ」と言う原爆です。

広島に投下された「リトル・ボーイ」は白に光を出して体の水分がなくなる

くらい、こわい物たそうです。実在に「リトル・ボーイ」を見た人がいるそうです。

「親子白く光りとともに消えた」と言つてゐた人が、黒いかげのしみになつて

消えた」ということを見た人は、話したそうです。

池田先生が最後に義三さんのビデオを見せてくれました。

義三さんは泣きながらしゃべつてゐました。

私はあつたため、義三さんが17才で軍に入つて、目にうつるものがとても悲しい

ものなんだとつち思つました。池田先生、今日はありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/12

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して、まず一番においと思ったのは、熱線です。理由は、熱線を受けてしまうと、体内の臓器にまで熱が入り、体内のすべての水分がうばわれてしまうからです。また、身近と一番思った事は、世界の国の一国につき広島原子力爆弾「リトルボイ」の約1000倍の威力を持った原子力爆弾を持っているということです。歴史を言周へていて、日本は戦争ともさまざまな場面で関わっているので、無視できないと思いました。さらに原爆のこわい所は、さまざまです。例えば、熱線、衝撃波、放射線、などなどありますが、間接的に被害を受ける人々もいます。また、原爆病による被害もとてもこわいです。ぼくは、はだしのゲンを読んだことがありますが、はだしのゲンでは、手を上げる理由は、はがれ落ちた皮フが地面につかないように、手に手を上げるということでもいずれにしてもおそろしいです。このようなことはわたしは原爆先生から聞いてとてもおそろしいと思います。また、このおそろしい原爆をまた世界のどこかでもっている目があるところこわいと思います。最後になりましたが、原爆先生ありがとうございました。